

大妻中高 GLOBAL 研究グループ

大妻中学高等学校 生徒主催プロジェクト

第2回 活動報告

「ジェンダー平等を実現しよう」

男女平等の実現は誰もが耳にしたことのある課題であると思います。しかし、なぜこれほど解決が難しいのか、そして解決に向けて具体的にどのようなアプローチが必要なのかについて深く考える機会はまだまだ限られています。今回の会ではSDGs ゴール5の「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマに、男女平等の本質と様々な分野における解決策のあり方を議論しました。当日は、学年を超えたディスカッションとグループプレゼンテーションを通じて大いに学びを深めることができたと感じております。特に女子校である本校の参加者にとって、身近に感じるのが難しい課題である本テーマを多様な視点から分析し、自分事として捉えることができたことには大きな意味があったように感じます。とても有意義なイベントとなりましたので、本紙面において、皆様にイベントの様子をご報告いたします。



日時： 2024年7月12日
場所： 大妻中高校舎 CALL 室
参加者数： 中2から高3まで、計12名
テーマ： SDGs 5
「ジェンダー平等を実現しよう」

このグループを立ち上げたきっかけと思い

第2回 Global 研究グループ プロジェクト実行委員長 川上 ゆうか

私は高校1年の3学期にオーストラリアに学期留学をし、現地で通っていた高校で、International Women's day といった校内イベントや「Poverty（貧困）」に関する授業を体験したり、日常の会話の一部として、友達や家族内で意見を交換したりする機会が多くありました。そのことに刺激を受け、国際課題という全世界共通の課題についてオーストラリアのように気軽に話し合える雰囲気を学内や日本国内で高めたい、と思ったことがこのグループを立ち上げたきっかけです。そして、私だけでは大きなことができなくても、同じように国際課題に興味を持つ仲間たちと協力し、みんなで意見を出し合えば、私たち中高生が変化を生むことができると考え、学内で実行委員、そして参加者を募りました。もちろん、この企画自体は小さい動きではありますが、それでも私たち中高生が自ら企画し、動くことに意義があり、私たち自身が国際課題の議論に参加すること自体が、その課題解決の一つだと感じており、社会への貢献に繋がると 생각합니다。今回のプロジェクトを通して、国際課題に対する意識を高めていく他、知識の豊富な先輩生徒たち、柔軟なアイデアを提案できる後輩生徒たちが分け隔てなく交流し、一つの活動をできたことをうれしく思います。



イベントの流れと様子

Session 1

「不平等マトリックス」&未来予想図を作ろう



第1セッションの前半では世の中に存在する男女格差に関する課題を再認識するために、以下5つの分類に分け、それぞれに関するトピックを調べて、ポストイットに書き出し、グループごとに表を作りました。それらをまとめて1つの表が完成しました。世界で話題になっているようなオーソドックスなものから意外と日常の中では気付けないような小さなものまで幅広いアイデアが出され、非

常に興味深いものとなりました。また、学年関係なく組まれたグループにも関わらず、一人一人が積極的に発言している様子が見受けられました。この表を作り上げたことで広い意味での男女格差を発見し、課題の深刻さと身近さを改めて認識するきっかけとなりました。

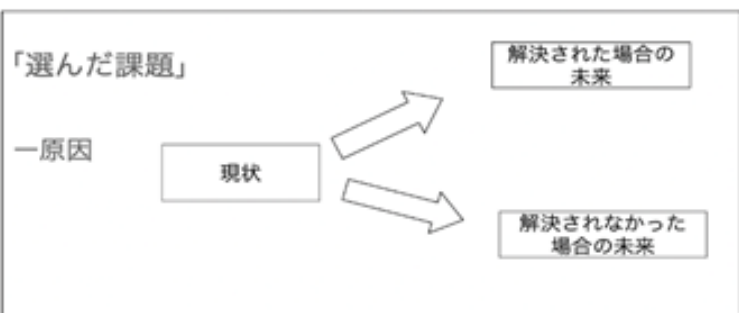
不平等が生じている分野

政治
教育
生活・健康
経済
その他



第1セッションの後半ではマトリックスの中からトピックをグループで1つ選んでもらい、その課題が解決された場合の未来と、解決されなかった場合の未来についての予想図を作成してもらいました。（右図）

グループで決めたそれぞれのテーマについて、解決したら良いこともある反面、どのような問題が新たに出てくるのか、また解決しなかったらどのような問題点が残る、どのような利点があるのかをより深いところまで考えました。実際に、「企業内での女性の活躍推進を実現させたらどうなるのか」を話し合っていたグループでは、もし解決がされなかった場合、女性は経済的に自立することが出来ないなどの問題点がある反面、家庭を持つ女性が増えて少子化が解決するかもしれないという斬新な考え方もありました。



各グループの選んだテーマ

- | | |
|--------|--------------------------------|
| グループ 1 | 企業内での女性の活躍推進 |
| グループ 2 | 性別による標準服廃止
(男子はズボン、女子はスカート) |
| グループ 3 | 大学での女子枠導入 |
| グループ 4 | 障がい者の教育と仕事 |

Session 2

グループディスカッション

1つ目のテーマは、男女不平等の解決はなぜ必要なのか。ディスカッションの結果、「なぜなら男女格差の軽減が社会全体の発展や、女性に対する基本的人権の享受に繋がるからだ」という結論が出ました。それぞれの参加者が十人十色のワークシートを作り上げ、それを全体で共有したことで、新たな知識を蓄えることができました。

2つ目のテーマは男女不平等の理想論について。現在、管理職の女性参画の割合が男性に比べて少ないのは、能力順に採用した結果だと主張する企業がほとんどです。真の男女平等を目指すのであれば、能力が低くても強制的に女性の割合を増やすことが正しいのでしょうか。ジェンダー平等は理想論で語られがちで、またこれらの問いには正しい答えがないため少し難しいと感じた生徒もいたようでした。しかし、意見を交わす中で今回の目的でもあった「ジェンダー平等を自分ごととして捉える」ことができたように感じました。



Session 3

グループリサーチ&プレゼン



第3セッションでは、より身近な男女不平等について深く考えるためのグループリサーチとプレゼンテーションを行いました。初めに男女不平等を解消する取り組みに対して反対の意見を持つ人を実行委員が演じた動画をグループごとに視聴しました。その後、参加者自身の意見をグループ内で共有しながら、動画内で提示した課題の現状、原因を細かく分析し、発表しました。それに加えて、動画

内で提案されている男女不平等の解消策についてリサーチをし、それを取り入れることへのメリットや背景を、データを交えながらプレゼンにまとめました。逆差別と主張されることの多い取り組みをテーマとして設定し、それらの取り組みを行うメリットは何か、なぜそれらの取り組みが効果的なのか、本当にそれらの導入は逆差別に当たるのか、について多角的な視点から考えました。セッション2で考えた男女平等の本質とは何かへの意見をベースに、動画内の反論者を説得するためのプレゼンを行い、参加者はそれまでのセッションで学んだ内容の理解を深めることができました。



記事まとめ QRコード

実行委員メンバーがセレクトした男女不平等に関するネットのニュース記事です。知識を深めたり、新しい視点から国際課題について学んだりするのに活用していただくことを目的に作成しました。



第2回 GLOBAL 振り返り

実行委員メンバー 高3 廣谷真央



私は第1回に引き続き、運営兼参加者として今回のプロジェクトに参加しました。前は様々な不平等に焦点を当てましたが、今回は「ジェンダー」というテーマに特化して議論しました。ジェンダーに関連する固定観念は深く根ざしており、これらを覆すことは容易ではありません。特に、女子校での経験が多い私たちにとって、男女差別はあまり身近な問題とは感じられないかもしれません。しかし、ジェンダー問題を理解し、自分たちの身近な問題として捉えることが重要です。このプロジェクトを通じて、私たちはジェンダー

ーに関する知識を深め、どのように問題を解決できるかを議論しました。例えば、最終プレゼンテーションでは「女性専用車」や「女子比率の低い大学での女子枠の導入」など、具体的な問題を取り上げ、それが本当に必要な優遇なのか、それとも逆差別にあたるのかを考えました。ジェンダー平等の一步を踏み出すこの過程は困難ですが、私たちにとって非常に有意義な経験となりました。



実行委員メンバー 高3 水野晴絵

今回も第1回グローバル研究会と同様、大変充実していて学びの深い会になったと思います。今回のトピックは女性の地位向上で、私自身が中学生の頃から非常に興味を持っていた内容だったのでこの会で学年を超えて議論を出来たことを大変嬉しく思います。自分では思いつかないような意見が学年を越えて共有されているのを見て、国際問題を自分ごととして考えている大妻生の姿勢にとっても感心しました。今回参加してくださった生徒の多くが中学生だったのですが、積極性や豊富な知識を持っており、「自分が中学生の時とは全然違うな」と驚きながら見ていました。こういった後輩達に将来グローバル研究会を引っ張っていきもらい、この会をより良いものに発展してもらえたらと思います。今回も携わってくださった先生方、ありがとうございました。

第1回の報告書

第1回の報告書はこちらからご覧いただけます。



表と未来予想図が校内の掲示版で全校生徒に共有されました。